

記入例

認定調査票（特記事項）

★必ず調査項目タイトルを表示して、内容を記載してください

特記事項の内容

先頭は概況を記入してください。

概況調査

【第三者行為 無】 夫と二人暮らしだったが、被害妄想が出るなど近所に迷惑をかけるようになったため、3年前より介護老人保健施設に入所。3カ月前、反応・意識がなく救急搬送。脳梗塞と診断され、そのまま入院。右麻痺が残り、寝たきり状態となった。先月退院し、施設に再入所となっている。寝たきり状態で言葉が聞き取りにくいなど、身体状態が変わり介護量も増えたため、申請した。

1-1. 麻痺等の有無

(1-1、2) 円背で亀背部にじょくそうができているため、あおむけにはなれない。右上・下肢ともに麻痺で自力では動かすことができない。左下肢はわずかに上がっただけで保持できず、左上肢は30度程度しか上がらなかった。可動域制限が左膝関節・両肘関節にあり真っ直ぐに伸展ができず、両肩関節も他動で60度程度しか挙上できない。

1-3. 寝返り

自力では寝返りが困難なため、「3. できない」を選択。

プルダウンになっているので、調査項目タイトルを選択してください。

1-4. 起き上がり

自力では起き上がりが困難なため、「3. できない」を選択。

1項目につき複数枠使用しないようにしてください。

1-5. 座位保持

経管栄養時はベッドを30度程度まで起こし、入浴時はリクライニング式車椅子を使用し、30~40度程度で座位を保つ。あまり起こすと首が前に倒れるなどの危険があると職員が話す。座位保持とはいえない状態のため「4. できない」を選択。

1-6. 両足での立位

(1-6~9) 脳梗塞後、困難な状態となった。

複数の調査項目をまとめて記入する場合はカッコ書きでまとめてください。

1-10. 洗身

週1回機械浴を行う。麻痺・拘縮があり、洗身は自分ではできないため、職員が2人で全面的に介助している。「3. 全介助」を選択。円背やじょくそうができているため、入浴は2人介助で工夫して介助している。

1-11. つめ切り

自分で切る事ができないため、職員が手足の爪を

セルの高さ・幅は変更できませんので、枠内で収まる文字数としてください。(目安180文字)

1-12. 視力

糖尿病による視力低下のため、新聞・雑誌などの字は見えないが、約1m離れた視力確認表は見た。

2-1. 移乗

移乗するのは、週1回の入浴時とシーツ交換時で、ベッドからリクライニング式車椅子に、職員が2人で抱えて移乗。また、自力では寝返りができないため、2時間おきに職員が体位交換を行っている。亀背部にじょくそうができているため、エアーマット・クッションを使用し、じょくそう部分が圧迫されていないかどうか十分に気をつけながら2人で対応している。

2-2. 移動

移動するのは、週1回の入浴時で、職員がリクライニング式車椅子を押して移動している。

2-3. えん下

鼻腔から経管栄養が行われているため、「3. できない」を選択。

全体で3ページに収めてください。  
※概況特記を含めて36項目以内です。

## 認定調査票（特記事項）

### 特記事項の内容

#### 2-4. 食事摂取

日に3回、鼻腔から経管栄養が行われているため、「4. 全介助」を選択。白湯を日に3回と15時に注入する。糖尿病のため内服中だが血糖値が高く、日に4~5回血糖測定を行い、栄養剤の注入速度も状態を見て、医師の指示を受けながら2時間かけて行っている。

#### 2-5. 排尿

(2-5、6) オムツ・パットを使用しており、職員が定時で交換・後始末をしている（日中3回、夜間3回）。尿便意の訴えはない。共に「4. 全介助」を選択。便秘症のため、月に2回程度、下剤を使用したり、浣腸を行っている。

#### 2-7. 口腔清潔

(2-7~9) 義歯は外しているの歯はない。職員が毎日口腔ケアを行い、拭き取りまで行う。顔は蒸しタオルを渡しても、麻痺のため腕が上がらず拭くことができないため、職員が拭いている。髪も職員が毎日整える。

#### 2-10. 上衣の着脱

(2-10、11) 浴衣式の病院着を着ている。麻痺や拘縮があり腕や足を上げることが難しいため、着脱は職員が全て介助している。

#### 3-1. 意思の伝達

できる時もあるが、こちらから質問しても言葉が上手く聞き取れず、何を言っているかわからない時もある。

#### 4-1. 被害的

(4群) 該当する行動はみられないとのことで、全て「1. ない」を選択

調査項目をまとめて記載する場合は、例えば4群であれば4-1を選択した上で記入例のように入力してください。

#### 5-1. 薬の内服

薬は潰し、溶かしてから鼻腔より看護師が日に3回注入している。

#### じょくそうの処置

今後も継続してじょくそうの処置が行われるため選択。糖尿病のために、じょくそうの治りが遅い。また、血糖が高いことや脳患部の中枢機能に障害があるためか、常時体温が高く(37~38度)、こまめな体温調整が必要になっていると職員が話す。

#### 障害高齢者自立度

ベッド上で常時臥床し、自力で寝返りが起き上がりも困難であるため「C2」を選択。

「障害高齢者自立度」「認知症高齢者自立度」については必ず入力してください。

#### 認知症高齢者自立度

一時も目を離せない状態ではないが、発語はほとんどなく、意思疎通の困難さがみられるため、「Ⅲa」を選択。質問しても家族のこともわからない。

記載されている特記事項の内容は、典型的にみられる特記事項等の記載をもとに作成したものであり、記入の模範例や基本調査項目の選択基準を提示するものではありませんので、その点にご留意ください。